

令和6年度

東伏見小学校

地域とともにある学校づくり

5年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「下野谷 PR 大使になろう」
(活動名)

ねらい：自分たちの住む町の下野谷遺跡について、現地調査や本・インターネットによる調べ学習をしながら、地域の宝である遺跡への理解を深める。また、様々なターゲットに学んだことを伝える活動を通して、地域のために自分たちのできることを考える。

1年生への発表



【7月9日・11日】

下野谷遺跡のことを調べ、分かったことを1年生に発表した。1年生にも分かりやすいように平仮名で書いたり、紙芝居やクイズを作ったりと、工夫をした。

地域への発表



【10月13日】

「したのや縄文の里秋祭り」に15人の児童が参加した。調べたことを画用紙にまとめ、繰り返し発表をして、多くの地域の方々に知らせた。

保護者への発表



【1月25日】

学校公開日に、下野谷遺跡のまとめを、保護者や隣のクラスの児童に伝えた。内容を詳しく、より高度にして、大人向けの発表を行った。

学習発表会の練習



【2月中旬～】

学習発表会にて、下野谷遺跡の1年間の学習のまとめを、全校児童と保護者に発表予定である。分かりやすく伝えるために、工夫しながら練習を行っている。

コラム

5月には、下野谷遺跡の現地に行って、竪穴住居に入ったり土器だまりを見たりしながら、社会教育課の方々から詳しい説明を聞いた。そこから生まれた問いについて、1年生→地域→保護者とターゲットを変えながら1年間かけて問題解決学習をしてきた。下野谷遺跡について詳しく理解し、その魅力をそれぞれが再発見し、地域への愛着も深まったと考えられる。